

■組立てされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意** …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
- 障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
 - ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・縦枠下部のブチルリケイ紙を必ずはがしてください。
 - ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

■組立て上へのお願い

- 必ず指定のねじで組立ててください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および外枠取付け用・額縁取付け用部品セットは、必ず施工される方にお渡しください。
- 枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず施工される方に障子建込み用部品セットをお渡しください。
- ガラス寸法はダンボールまたはカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- 障子の建込みは外障子から建込んでください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 連窓・段窓する際は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
- バランス部品箱は別売りです。

■部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～㉔は、部品・ねじの種類を示します。

外枠組立て用	障子組立て用				障子建込み用
① バインドタッピンねじ φ4×30	② バインドタッピンねじ φ4×25	③ ピボット (内障子用)	④ トラス小ねじM4×6	⑤ 外障子吊金具(外障子用)	⑥ アームスライダー
障子建込み用					
⑦ トラス小ねじM4×6 (上枠カバー材と同等色)	⑧ 障子ストッパー	⑨ 外障子上部振止め	⑩ 気密ピース	⑪ バインド小ねじ先付M4×10 (⑦と同等色)	⑫ バインド小ねじ先付 M4×10

■バランス部品箱 (別売り) 一覧表

※本文図中の⑬～⑭は、部品・ねじの種類を示します。

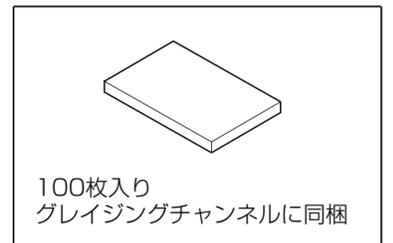
バランス取付け用
⑬ バインド小ねじ M4×10
⑭ バランス

■別売り部品

●グレイジングチャンネル

種類	ガラス厚18~20mm用			ガラス厚21~22mm用	
	18mm	19mm	20mm	21mm	22mm
グレイジングチャンネル		1枚ハクリしてご使用ください。 	2枚ハクリしてご使用ください。 		1枚ハクリしてご使用ください。

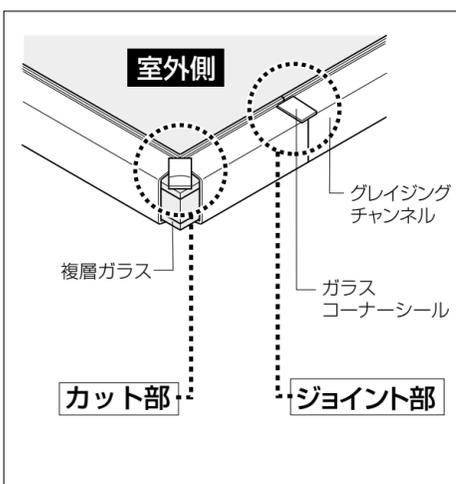
●ガラスコーナースील



■組立て順序

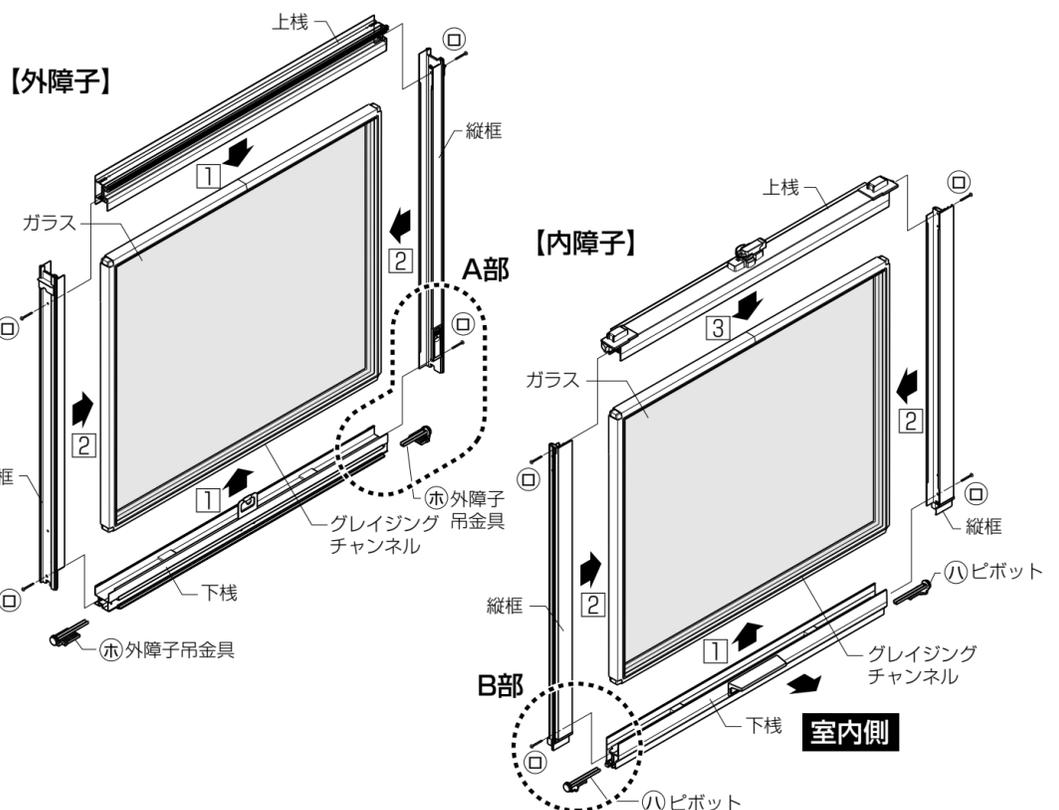
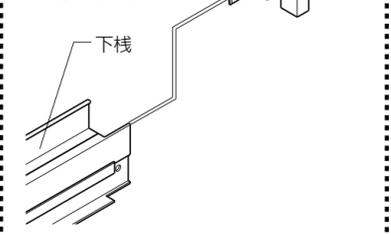
1 障子の組立て

- ①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル (別売り) を、ガラス4周に回します。
- ②ガラス室外側の4隅のカット部およびジョイント部に、ガラスコーナースील (別売り) を張ります。
※高断熱・高気密住宅の場合、必ず実施してください。
- ③ガラスコーナースीलを室外側にして、内障子は①下棧、①縦框、③上棧の順にガラスに差込みねじで固定します。外障子は①上下棧、①縦框の順にガラスに差込みねじで固定します。
※下棧のシーラーがめくれないように注意してください。



■A部詳細図

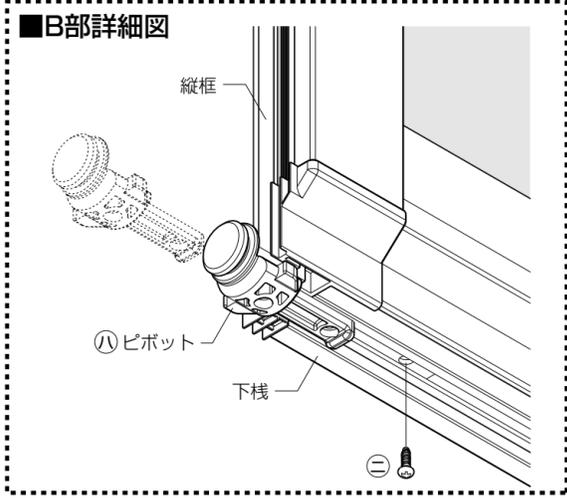
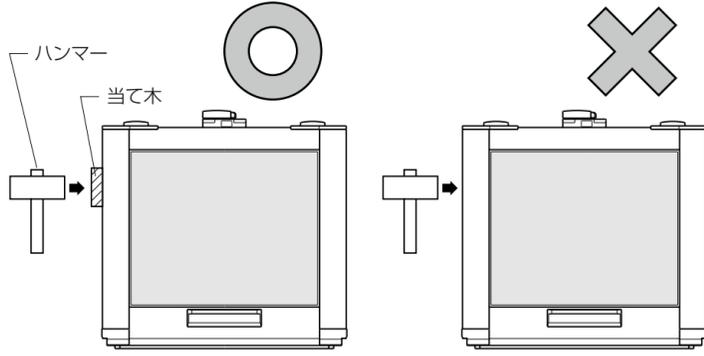
右縦框と下棧の組み付けの際に、サブブロック下部の溝に、下棧が差込まれるように注意してください。



④内障子は下枠にピボットを、外障子には外障子吊金具を奥まで差込みねじ止めします。

お願い

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

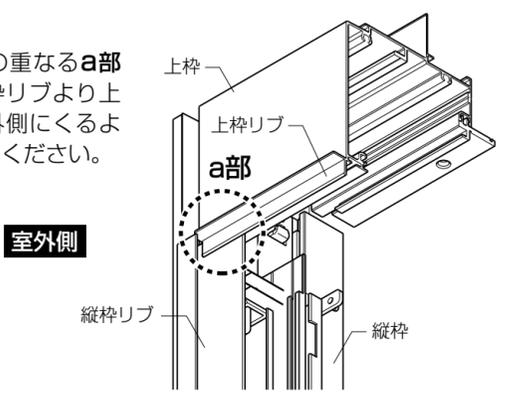


2 枠の組立て

●各部材の向きを合わせてねじ止めします。

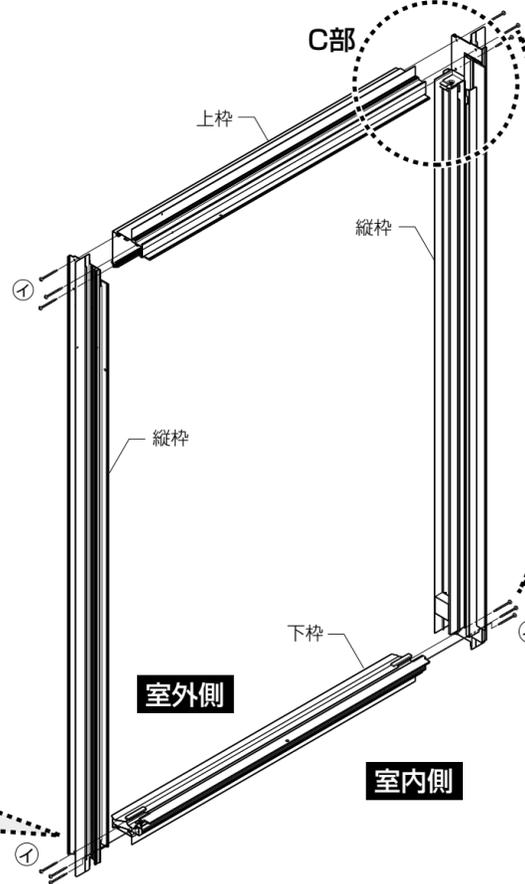
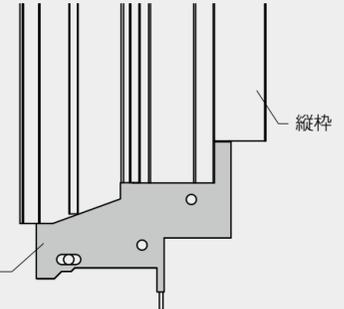
C部詳細図

●縦枠と上枠の重なるa部は、必ず縦枠リップより上枠リップが室外側にくるように組立ててください。



注意

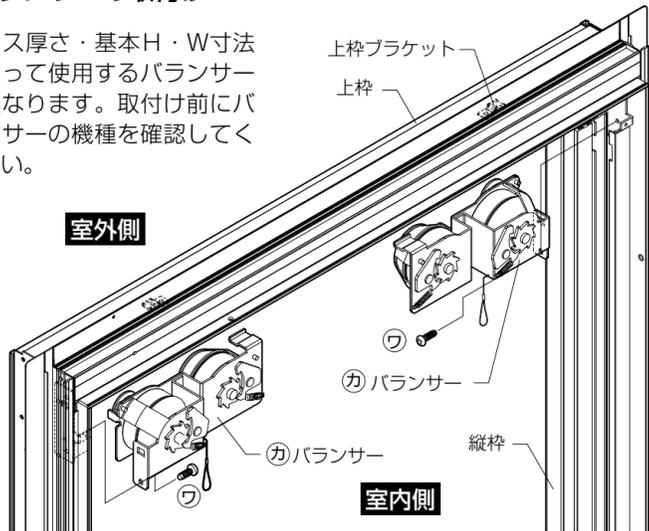
- コーキングシーラーが、下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めしてください。
- ねじ止め後、緩み・がたつきのないことを確認してください。コーキングシーラー



注意
●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

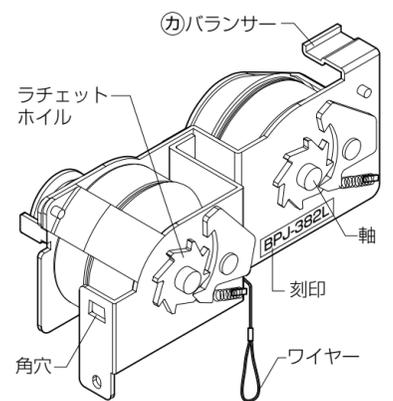
3 バランサーの取付け

※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバランサーが異なります。取付け前にバランサーの機種を確認してください。



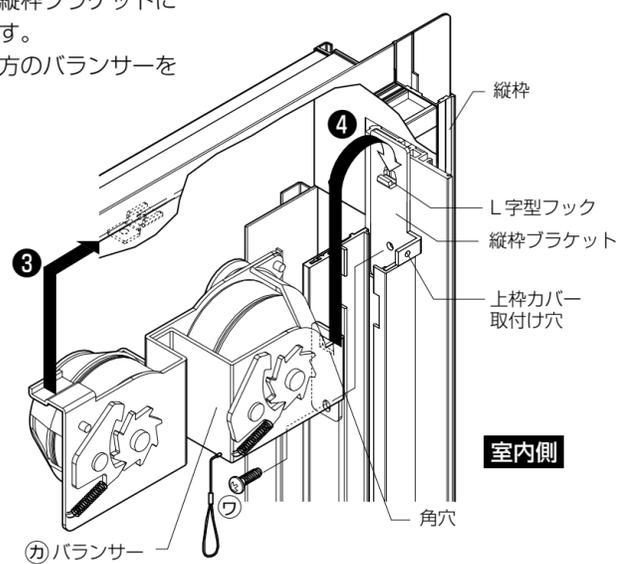
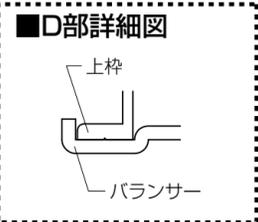
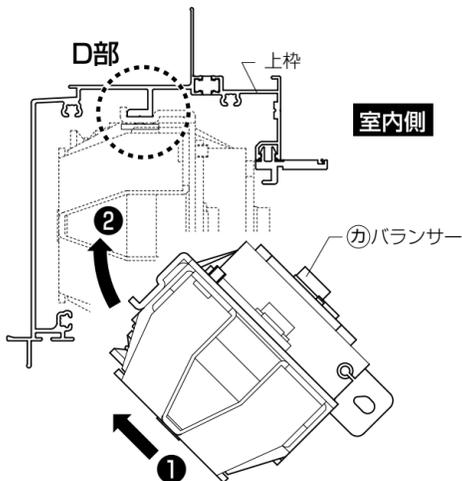
お願い

- 障子建込み前にバランサーのワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。障子が建込めなくなったり、バランサーが破損したりすることがあります。
- バランサーの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L (内観左)・R (内観右)を確認してください。
- バランサーは必ず枠を立てた状態で取付けてください。



- ①バランサーを45°傾けて、上枠に差込みます。
- ②バランサーの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。バランサーの溝を上枠のレールに当てがいます。

- ③バランサーを縦枠側にスライドさせ、上枠と上枠ブラケットの間に挟み込みます。
- ④縦枠についているブラケットのL字型フックにバランサーの角穴を引っ掛けます。
- ⑤バランサーを縦枠ブラケットにねじ止めします。
- ⑥同様にもう一方のバランサーを取付けます。



4 外障子の建込み

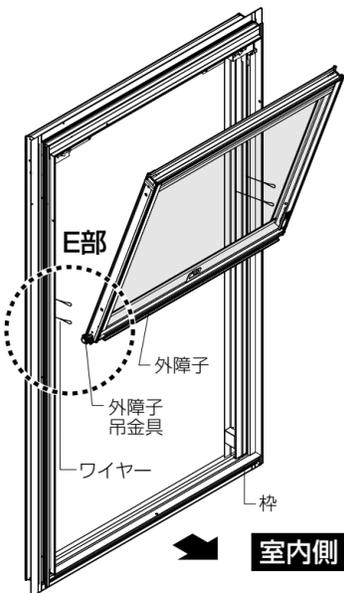
※必ず障子の内外を確認し、外障子→内障子の順に建込んでください。

- ①ワイヤー先端を外障子吊金具の溝にはめ込みます。
- ②障子を起こし、けんどんで枠に障子を建込みます。

▲注意

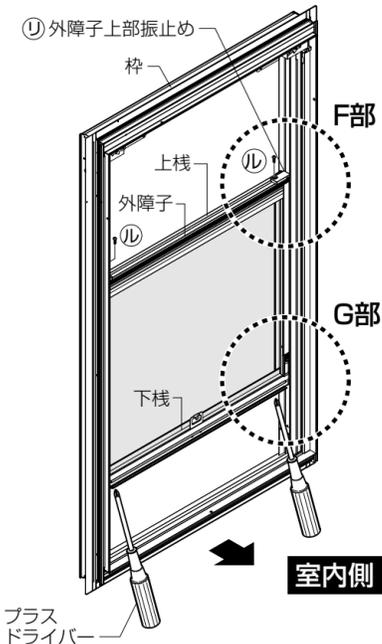
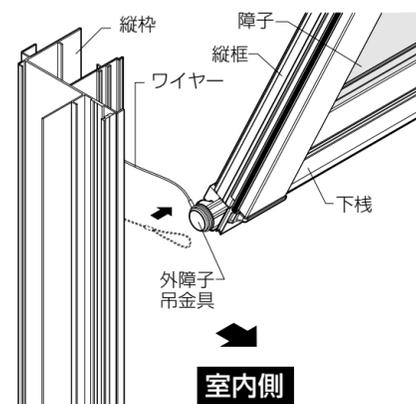
- 障子は必ず立てた状態で建込んでください。
- 建込み後は取付けまでクレセントをかけておいてください。

- ③上棧に外障子上部振止めをねじ止めします。
※縦枠の気密材が左右とも縦枠にかくれるように位置を合わせてください。
- ④下棧の外障子吊金具のねじを外障子吊金具が左右に動くくらいに緩め、外障子吊金具を縦枠側に軽く押し当てながらねじを締直します。



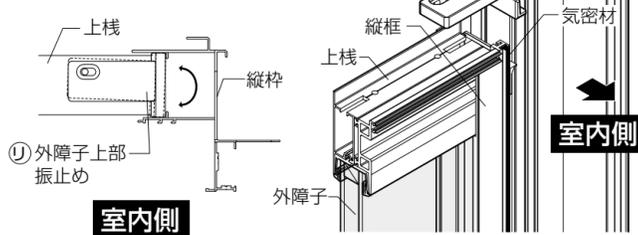
■E部詳細図

※ワイヤーは必ず外障子吊金具の溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れるとバルンサーが破損するおそれがあります。



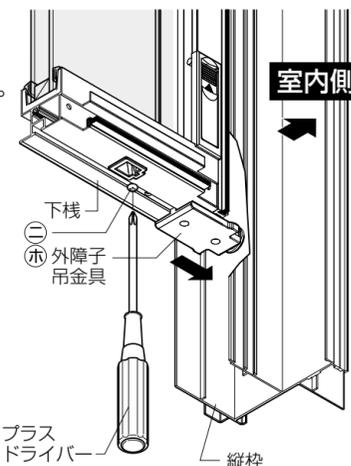
■F部詳細図

※ねじは必ず手締めしてください。
※障子開閉時に外障子上部振止めからきしみ音が発生する場合は、外障子上部振止めの向きを調整してください。

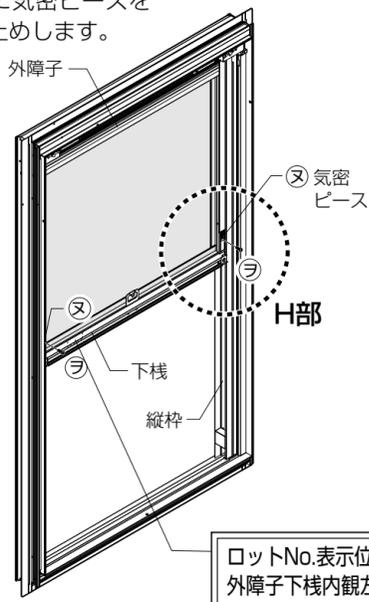


■G部詳細図

①外障子吊金具を縦枠側にずらしてねじを締めます。
②左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
※まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。
※障子開閉時に外障子吊金具からきしみ音が発生する場合は、再度調整を行ってください。



- ⑤下棧に気密ピースをねじ止めします。



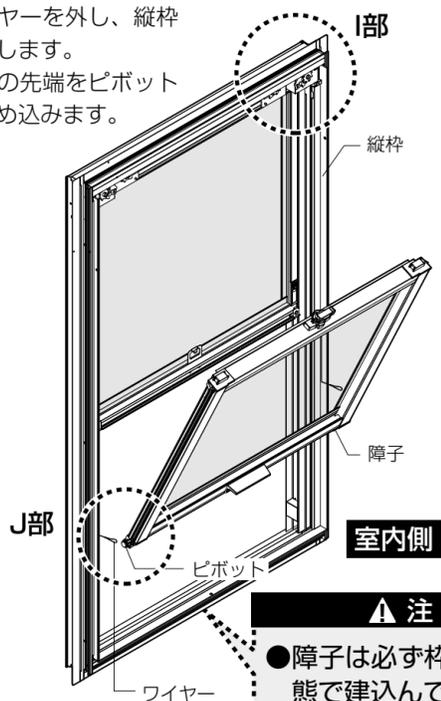
■H部詳細図

※左右の気密ピースが、縦枠と同じようにあたるように外障子の位置を調整してください。



5 内障子の建込み

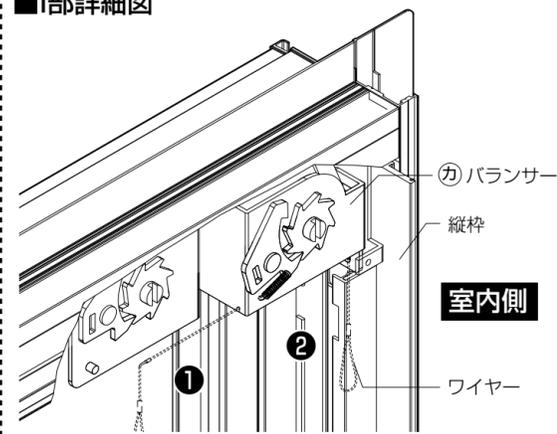
- ①バルンサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ②ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。



▲注意

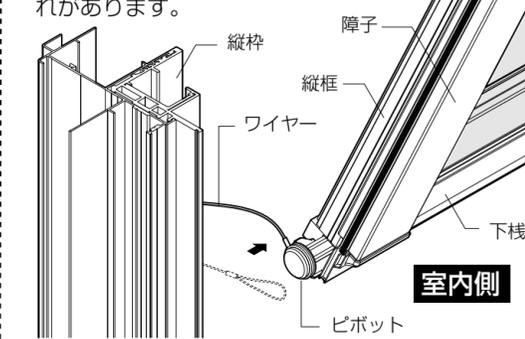
- 障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。

■I部詳細図

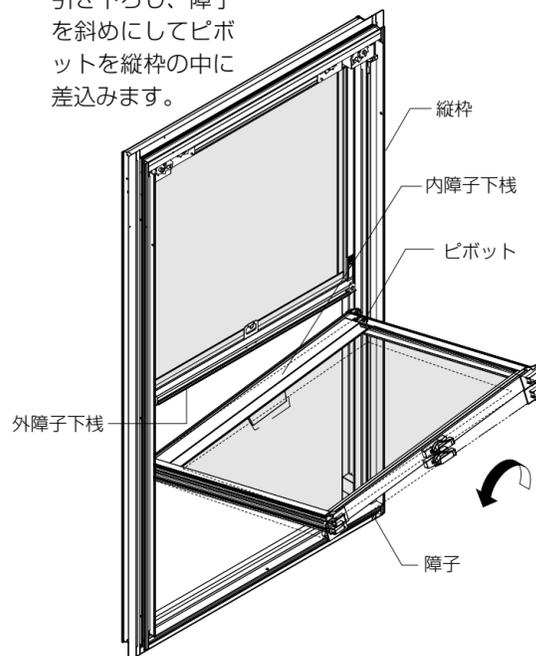


■J部詳細図

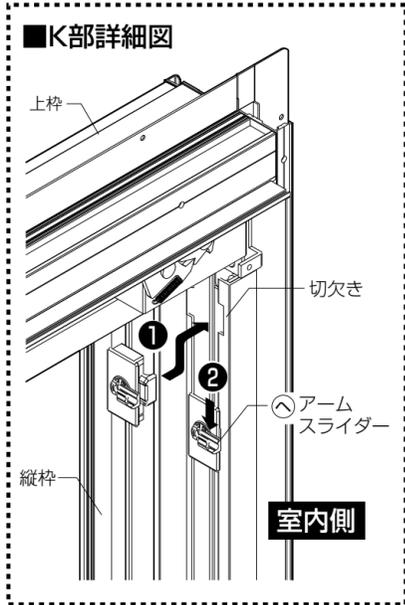
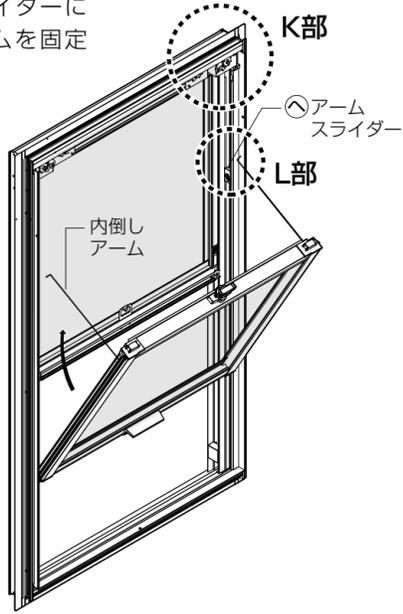
※ワイヤーは必ずピボットの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れるとバルンサーが破損するおそれがあります。



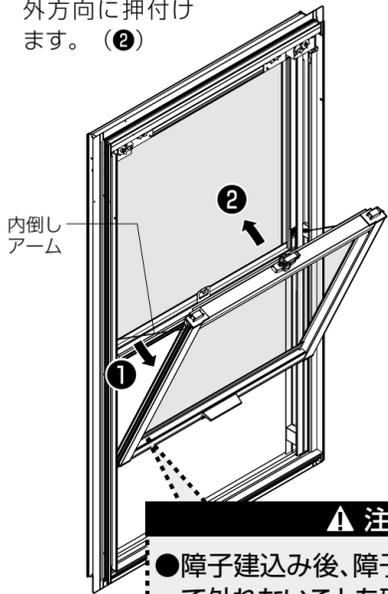
- ③内障子の下棧を外障子下棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差込みます。



- ④アームスライダーを縦枠の切欠きから差込みます。
 ※H907未満には内倒しアームがついていませんので、アームスライダーは使用しません。
- ⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。



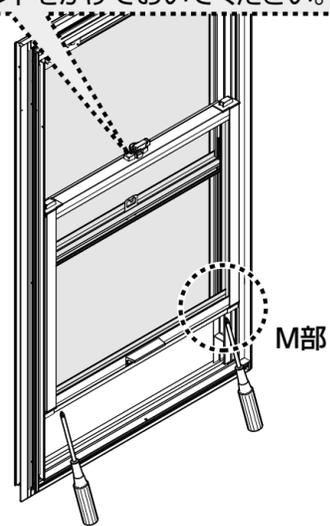
- ⑥内倒しアームを押し下げながら(①)、障子を起こし、「カチッ」という音がするまで室外方向に押付けます。(②)



▲注意
 ●障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。

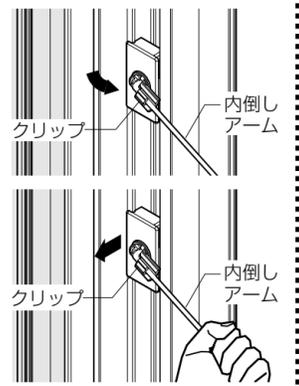
- ⑦ピボットのねじ位置を調整します。

▲注意
 ●障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。

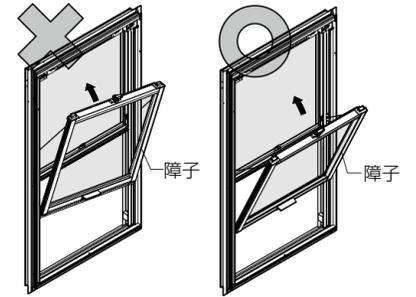


■L部詳細図

- ①アームスライダーに内倒しアームを差込みます。
- ②クリップを反時計回りに回し、内倒しアームにはめ込みます。
- ③内倒しアームを矢印方向に強く引っ張り、抜けないことを確認します。

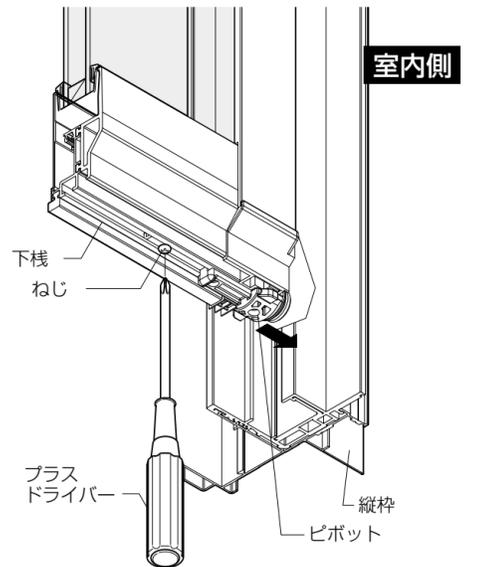


※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子を傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。



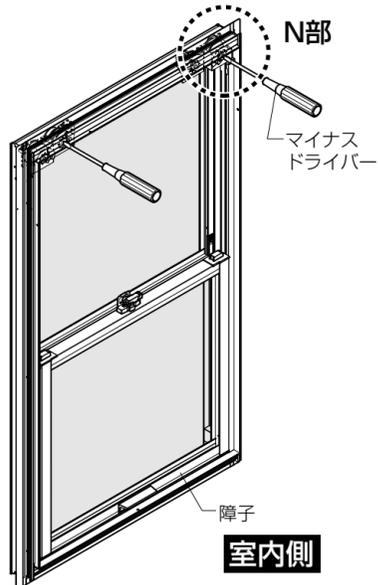
■M部詳細図

- ①ピボットが左右に動く程度にねじを緩めます。
- ②ピボットを縦枠側にずらしてねじを締めます。
- ③左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
- ※まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。



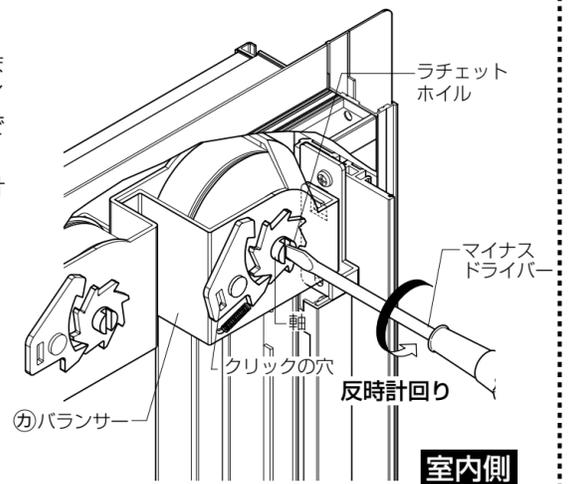
6 バランサーの調整

- ※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。
- ①障子を一番下に下げます。
- ②障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリップの穴にマイナスドライバーを差込んで回し、戻してください。



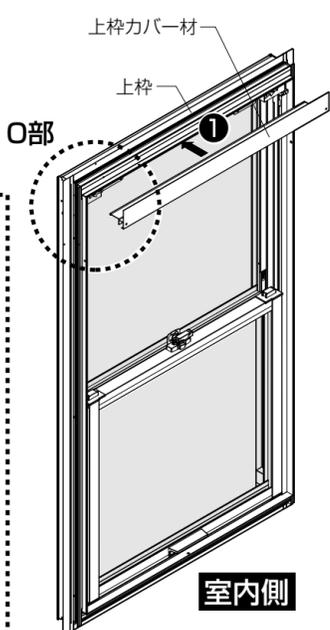
■N部詳細図

- ※図はR(内観右)を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
- ※L(内観左)は逆回転(時計回り)です。



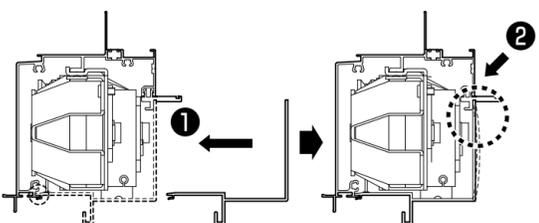
7 上枠カバー材の取付け

- ①上枠カバー材の溝を上枠にはめ込みます。(①)
 ※左右の角度を傷つけないようにしてください。
- ②矢印部を押し上枠カバー材をたわませながら(②)、上枠の溝にはめ込みます。



■O部詳細図

- ※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、下記同様に上枠カバー材をたわませ外してください。



■P部詳細図

- ③上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
- ④障子ストッパーを縦枠の切欠きから室内側よりひっかけ、「パチン」と音がするまで押付けます。
- ※障子ストッパーを外す場合、図の方向と逆に室外側より回転させて外してください。

